

## 1. 物質 / 調剤及び会社の識別

製品 : perma CLASSIC/FUTURA (クエン酸入り)  
用途 : 潤滑剤供与体  
会社名 : ING 商事株式会社  
大阪府大阪市平野区加美東 4 丁目 3 番 47 号  
TEL : 06-6791-1400  
FAX : 06-6791-1405

## 2. 組成含有物情報

物質	EINECS/ELINCS	CAS	範囲 (%)	記号 / 危険警句
クエン酸	201-069-1	77-92-9	1-<20	Xi 36
エチレングリコール	203-473-3	107-21-1	25-<40	Xn 22
N-(2-ヒドロキシエチル)-エチレン・ジアミン三酢酸、三ナトリウム塩	205-381-9	139-89-9	1-<20	Xi 36

有害成分が含まれている物質は目的とした用途では自由に利用できない。

## 3. 危険有害性物質の識別

本製品を意図された目的で使用する場合は、ハウジングの構造設計により、含まれる危険媒体が放出されることはない。

## 4. 応急処置

一般情報 : 該当なし  
吸入した場合 : 該当なし  
皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は直ちに石けん水で洗い流すこと。  
目に入った場合 : 目に入った場合は、十分な水で目を洗い流し、医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合 : 該当なし  
医師への注意事項 : 対症療法

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴射、乾燥粉末、二酸化炭素、泡  
使用してはならない消火剤 : 全開のウォータージェット  
物質または調剤自体あるいは燃焼生成物により発生する特殊な暴露危険 : 有毒熱分解生成物が生成されるリスク  
消防士向けの特殊な防護具 : 呼吸用保護具を着用する。  
追加情報 : 水噴射により危険な容器を冷却する。

## 6. 漏出時対策

人体に関する注意事項 : 該当なし  
環境に対する注意事項 : 該当なし  
除去 / 収集方法 : 機械で吸い取る。吸収した物質は規則に従って処分すること。

## 7. 取扱い及び保管

安全な取扱いに関する注意事項 :	正しく使用していれば特別な対策は不要
火災および爆発の防止に関する注意事項 :	特別な対策は不要
保管室および容器の要件 :	特別な対策は不要
保管の親和性に関する注意事項 :	該当なし
保管条件に関する他の情報 :	容器はしっかりと閉めること。

## 8. 暴露防止 / 個人保護

システム設計に関する追加の注意事項 : 該当なし

監視すべき職業暴露限度がある成分 :

物質 :	値 :
エチレングリコール	LTEL : 52mg/m <sup>3</sup> 、STEL : 104mg/m <sup>3</sup> (蒸気、新職業暴露限界指針値 (IOELV)、Sk,14/3,88)

LTEL : 長時間暴露限界値、STEL : 短時間暴露限界値

呼吸器の保護 :	該当なし
手の保護 :	適切な保護手袋 : ブチルゴム > 120 分 (EN374)
目の保護 :	該当なし
皮膚の保護 :	該当なし
一般保護対策 :	目に入らないようにすること。
衛生上の対策 :	休憩時および作業後に手を洗うこと。
環境暴露の限界値と監視 :	未定

## 9. 物理化学的性状

形態 :	カプセル	密度 (g/ml) :	未定
色 :		容積密度 (kg/m <sup>3</sup> ) :	
臭気 :		水溶性 :	該当なし
pH 値 :	該当なし	分配係数 :	未定
		n-オクタノール / 水 :	
沸点 ( ) :	該当なし	粘度 :	該当なし
引火点 ( ) :	該当なし	大気中での相対蒸気密度 :	該当なし
難燃性 :	該当なし	蒸発速度 :	該当なし
爆発下限 :	該当なし	融点 ( ) :	該当なし
爆発上限 :	該当なし	自動発火温度 :	該当なし
燃焼特性 :	なし	分解温度 ( ) :	該当なし
蒸気圧 (kPa) :	未定		

## 10. 安定性及び反応性

危険反応 :	危険な反応は分かっていない。
危険な分解生成物 :	危険な分解生成物は分かっていない。

## 11. 毒物性情報

急性経口毒性 OECD401：	LD50 ラット： LD50 マウス：
急性経皮毒性 OECD402：	LD50 ウサギ：
急性吸入毒性 OECD403：	LC50 モルモット：
目に対する刺激性 OECD405：	該当なし
皮膚に対する刺激性 OECD404：	該当なし
感作性 / 実証 OECD406：	該当なし
亜急性毒性：	該当なし
慢性毒性：	該当なし
変異原性 / 実証：	該当なし
生殖毒性 / 実証：	該当なし
発ガン性 / 実証：	該当なし
実践による経験：	なし
一般的注記：	毒物学的データは入手できない。本製品は調剤指令の計算手順を基準に分類されている。

## 12. 環境影響情報

魚毒性：	該当なし
環境区分での作用：	該当なし
下水処理場での作用：	該当なし
バクテリア毒性：	該当なし
生物分解性：	該当なし
化学的酸素要求量 (COD)：	
生物化学的酸素要求量 (BOD5)：	
吸着性有機ハロゲン物質 (AOX) に関する注意事項：	該当なし
76/464/EC の合成物を含む：	該当なし
一般的注意事項：	生態学的データは入手できない。

## 13. 廃棄についての注意点

処分 / 製品：	有害廃棄物として処分する。
廃棄物番号 (推奨)：	150110*
処分 / 汚染された包装：	汚染された包装はできる限り空にし、適切に洗浄した後再利用できる。洗浄できない包装は製品と同様に処分する。

## 14. 輸送情報

ADR による分類：	
ADR クラス：	危険物に分類されていない。
申告書：	
ラベリング：	
要因、ADR1.1.3.6：	
危険番号：	
ラベル：	

改訂 : 2011 年 1 月 11 日

LQ, ADR 3.4.6 :  
IMDG による分類 :  
IMDG-コード-クラス : 危険物に分類されていない。  
申告書 :  
ラベリング :  
EmS :  
ラベル :  
LQ ( l/kg ) :  
IATA による分類 :  
IATA-DGR-クラス : 危険物に分類されていない。  
申告書 :  
ラベリング :  
ラベル :

#### 15. 規制情報

ラベリング : 本調剤は製品であるため、EC 指令 / GefStoffV に基づくラベリングは必要ではない。

危険記号 :

本製品を意図された目的で使用している場合は、ハウジングの構造的設計により、中に含まれる危険媒体が放出されることはない。

#### 特定の調剤に関する特別ラベリング

該当なし

#### (ドイツ) 国内規則

該当なし

#### 16. その他の情報

##### 危険警句 ( R-pharse ) ( 組成含有物情報-第 2 章 )

R22 : 飲み込んだ場合は有害である。

R36 : 目に刺激がある。

#### 規制情報

- \* 91/155 (2001/58)
- \* 67/548 (2001/59)
- \* 1999/45 (2001/60)
- \* 91/689 (2001/118)
- \* 89/542
- \* ADR (2003)
- \* IMDG-Code (31.Amdt.)
- \* IATA-DGR (2003)

#### 改訂状況 :

該当なし